

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する主な分野別計画等	京都市環境基本計画2016～2025, 京都市循環型社会推進基本計画 (2015-2020)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	a	a	817	775	798	102.9%	a	1.00	
2 ごみ焼却量(トン)	-	a	41.2万	38.9万	40.0万	102.8%	a	1.00	
3 ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	382	359	360	99.7%	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						有効回答者数	評価
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	a	146	261	73	17	5	502	a	
			29.1%	52.0%	14.5%	3.4%	1.0%			
2 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	a	162	215	71	38	18	504	a	
			32.1%	42.7%	14.1%	7.5%	3.6%			
3 -	-	-							-	
4 -	-	-							-	
5 -	-	-							-	
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					28年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						27年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	30,688	35,757	普通	環境政策局
2	リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	20,404	21,564	普通	環境政策局
3	蛍光管拠点回収事業	13,792	14,064	良い	環境政策局
4	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	11,415	14,964	良い	環境政策局
5	資源物回収拠点の設置	66,497	66,198	かなり良い	環境政策局
6	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	17,816	19,271	良い	環境政策局
7	ごみ減量推進会議の活動の支援	70,186	63,846	良い	環境政策局
8	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	9,732	11,505	良い	環境政策局
9	小型家電リサイクル事業	18,592	15,781	かなり良い	環境政策局
10	イベント等のエコ化の推進	25,568	24,306	良い	環境政策局
11	マイボトル推奨等サポート事業	6,973	6,271	かなり良い	環境政策局
12	生ごみ減量推進事業	38,820	36,515	良い	環境政策局
13	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	8,290	10,678	良い	環境政策局
14	移動式拠点回収事業	22,662	26,051	普通	環境政策局
15	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	18,533	19,540	かなり良い	環境政策局
16	京都環境保全公社への府市協調支援	1,040,558	865,558	かなり良い	環境政策局
17	大岩街道周辺地域対策(岡田山撤去関連事業等)	37,884	39,347	良い	環境政策局
18	廃棄物排出事業者指導業務(産業廃棄物)	65,994	69,142	普通	環境政策局
19	コミュニティ回収等の集団回収事業	61,795	68,528	普通	環境政策局
20	観光トイレ制度	23,996	34,545	普通	環境政策局
21	事業ごみ減量, 分別・リサイクル対策	197,390	199,547	かなり良い	環境政策局
22	食品ロス削減等推進事業	0	34,374		環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・「2R」と「分別・リサイクルの促進」の2つを柱とするごみ減量施策を推進し、資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減、さらには「もったいない」や「しまつ」といった京都らしいライフスタイルなどの定着を図り、市民、事業者とともに、全国のモデルとなる持続可能な循環型社会の構築に取り組む。
- ・クリーンセンターの施設保全計画を更新し、適切な補修等の整備を行うことで、安定したごみ焼却を行い、発電効率の向上に努める。
- ・以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感の維持、更なる向上を図り、ごみを出さない循環型社会の構築を推進する。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
1 指標の説明						
一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	目標値		
数値	817	775	42グラム減	数値 798	目標値 根拠 平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	達成度 102.9%
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値 730グラム	目標年次 32年度	達成度 93.8%		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新値－目標値が、 a：0グラム以下 b：0グラム超～27グラム以下 c：27グラム超～54グラム以下 d：54グラム超～82グラム以下 e：82グラム超			当年度の目標値（798グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ量（880グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（約27グラム間隔）で基準を設定		27 28 29 a a a	
指標名	ごみ焼却量（トン）					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみの焼却量						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」と分別・リサイクルの推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	目標値		
数値	41.2万	38.9万	2.3万トン減	数値 40.0万	目標値 根拠 平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	達成度 102.8%
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値 35万トン	目標年次 32年度	達成度 88.9%		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新値－目標値が、 a：0トン以下 b：0トン超～1.3万トン以下 c：1.3万トン超～2.6万トン以下 d：2.6万トン超～4.0万トン以下 e：4.0万トン超			当年度の目標値（40.0万トン）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ焼却量（44万トン）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（約1.3万トン間隔）で基準を設定		27 28 29 - a a	

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)					
担当課	施設管理課	連絡先	212-9820			
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標			算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却量 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	目標値		
数値	382	359	23(kWh/t)減	数値 360	根拠 今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(450kWh/t)に対する当年度の計画値	
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値 450kWh/t	目標年次 32年度	達成度 79.8%		根拠 京都市循環型社会推進基本計画<2015-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満		全クリーンセンターにおける発電量を焼却量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。		27	28	
				a	a	
					29	
				a	a	